

校 園 長 室 か ら



学 校 教 育 目 標

共 に 学 び 共 に 伸 び る 子 ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令 和 6 年 4 月 26 日 第 3 号

25 巻 行 方 不 明

いよいよ GW が目前。学校生活にも少しずつ慣れてきて、この連休は、子どもも先生も私もちょっとほっとできる時間。

何か予定は立てていますか。何人かの児童に聞くと「ああだ、こうだ」いろんな答えが返ってきそうです。

私の予定は、まず四天王寺に行くこと。お参りではないです。少し用事があるのです。京都岡崎の「みやこめっせ」に行くことも、同じ用事で。

現在、世界一長いと言われる小説を読んでいます。『徳川家康』(山岡荘八著)。全 26 巻。挿絵なしの上下二段組みの大長編小説。

実は、私が小学校に上がるころ、30 年ほど前に亡くなった父親から「読んでみる」と差し込まれたもの。26 冊あるのであっちに置いたりこっちに並べたり、十数年倉庫の奥にしまっていたり。

ようやくこのお正月から読み始めました。

1 巻を読み終えてびっくり。主人公の徳川家康がようやく生まれたところで 2 巻へ。関ヶ原の戦いが 18 巻目。まだ、残り 8 巻あります。

ただ、いよいよ 20 巻が迫り、残った本をぼんやり眺めていると、25 巻がない。なぜか 24 巻が 2 冊。

雲の上の父親に「俺の青春の書や、って言うてたけど、ほんまに読んだか」と叫びたくなりました。

そこで四天王寺にみやこめっせの登場。同じ装丁の 25 巻を探しに行きます。って、四天王寺やみやこめっせで何があるのか。

ああ説明するスペースがなくなった。